

2 学年 数学科 年間評価計画

1 章 式の計算	2
2 章 連立方程式	3
3 章 一次関数	4
4 章 図形の調べ方	6
5 章 図形の性質と証明	8
6 章 場合の数と確率	10
7 章 箱ひげ図とデータの活用	11

1章 文字式を使って説明しよう [式の計算] (15時間)

単元の評価規準例

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすることができる。 具体的な事象の中の数量の関係を文字を使った式で表したり、式の意味を読みとったりすることができる。 文字を使った式で数量及び数量の関係を捉え説明できることを理解している。 目的に応じて、簡単な式を変形することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な数の計算や既に学習した計算の方法と関連づけて、整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算の方法を考察し表現することができる。 文字を使った式を活用して具体的な場面を考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 文字を使った式のよさに気づき粘り強く考えようとしている。 文字を使った式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 文字を使った式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。

毎時の評価規準例

節	評価規準例		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 式の計算	<ul style="list-style-type: none"> ○文字を使うと、数量を一般的に表すことができることを理解している。 ○単項式と多項式、次数の意味を理解している。 ○同類項の意味を理解し、同類項をまとめる計算ができる。 ○多項式の加法や減法の計算方法を理解し、計算ができる。 ○多項式と数の乗法や除法の計算方法を理解し、計算ができる。 ○いろいろな多項式の計算ができる。 ○単項式どうしの乗法や除法の計算方法を理解し、計算ができる。 ○単項式どうしの乗法と除法の混じった計算ができる。 ○式の値をくふうして求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○マジックシートの仕組みが成り立つことを、具体的な数や文字を使って説明することができる。 ○既習の計算方法と関連づけて、2つの文字をふくむ同類項をまとめる計算を考え、説明することができる。 ○マジックシートの仕組みが成り立つことを、文字を使って説明することができる。 ○既習の計算方法と関連づけて、2つの文字をふくむ多項式と数の乗法や除法の計算を考え、説明することができる。 ○単項式の乗法や除法の計算方法を、面積図を用いて考え、説明することができる。 ○誤りのありのある単項式どうしの除法について、誤りを指摘することができる。 ○式の値をくふうして求める方法を考え、説明することができる。 ○誤りのある単項式どうしの乗法と除法の混じった計算について、誤りを指摘することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○文字を使った式の必要性和意味を考えようとしている。 ○既習の計算方法と関連づけて、多項式の計算方法を考えようとしている。 ○単項式の乗法や除法の意味を考えようとしている。 ○式の値をくふうして求める方法を考えようとしている。
2 文字式の利用	<ul style="list-style-type: none"> ○文字を使うと、数の性質を一般的に説明することができることを理解している。 ○文字を使って数量を表したり、説明することがらに合わせて文字式を変形したりすることができる。 ○文字を使って数量を表したり、説明することがらに合わせて文字式を変形したりすることができる。 ○文字を使って数量の関係を表すことができる。 ○目的に応じて等式を変形することの必要性を理解している。 ○等式を変形して、ある文字について解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○数の性質が成り立つことを、文字を使って説明することができる。 ○文字を使った説明を読んで新たな性質を見いだしたり、問題の条件を変えて統一的・発展的に考え説明したりすることができる。 ○数の性質が成り立つことを、文字を使って説明することができる。 ○問題の条件を変えて統一的・発展的に考え、説明することができる。 ○身のまわりの場面において、文字を使って数量の関係をみだし、説明することができる。 ○等式の性質を利用して、変形した式の意味を考えたり、具体的な問題を解決したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○文字を使った式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○文字を使った式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 ○身のまわりの場面において、文字を使って数量の関係をみだし、説明しようとしている。 ○目的に応じて等式を変形することの必要性を考えようとしている。

2章 方程式を利用して問題を解決しよう [連立方程式] (12時間)

単元の評価規準例

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 2元1次方程式とその解の意味を理解している。 連立2元1次方程式の必要性と意味及びその解の意味を理解している。 簡単な連立2元1次方程式を解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 1元1次方程式と関連づけて、連立2元1次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 連立2元1次方程式を活用して具体的な場面を考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 連立2元1次方程式のよさに気づき粘り強く考えようとしている。 連立2元1次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 連立2元1次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。

毎時の評価規準例

節	評価規準例		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 連立方程式とその解き方	<ul style="list-style-type: none"> ○2元1次方程式とその解の意味を理解している。 ○連立方程式とその解の意味を理解している。 ○連立方程式では、1つの文字を消去して1次方程式をつくれれば解けることを理解している。 ○文字の係数の絶対値が等しい場合の連立方程式を解くことができる。 ○加減法を理解し、それをを用いて連立方程式を解くことができる。 ○代入法を理解し、それをを用いて連立方程式を解くことができる。 ○問題の連立方程式に応じて適切な解法を選ぶことができる。 ○かっこをふくむ連立方程式の解き方を理解し、解くことができる。 ○係数に小数や分数をふくむ連立方程式の解き方を理解し、解くことができる。 ○$A=B=C$の形をした連立方程式の解き方を理解し、解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○求めたい数量が2つある問題を、既習の1元1次方程式などを利用して解決することができる。 ○文字の係数の絶対値が等しい場合の連立方程式で、1つの文字を消去する方法を考え、説明することができる。 ○文字の係数の絶対値が等しくない場合の連立方程式で、1つの文字を消去する方法を考え、説明することができる。 ○一方の式を他方の式に代入し、文字を消去する方法を考え、説明することができる。 ○連立方程式の解き方を振り返って、加減法と代入法を統合的に捉えることができる。 ○いろいろな連立方程式を、既知の連立方程式になおして解く方法を考え、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○1元1次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って、2元1次方程式の必要性と意味を考えようとしている。 ○連立2元1次方程式の必要性と意味を考えようとしている。 ○1元1次方程式と関連づけて、連立方程式を解く方法を考えようとしている。 ○いろいろな連立方程式を、既知の連立方程式になおして解く方法を考えようとしている。
2 連立方程式の利用	<ul style="list-style-type: none"> ○具体的な問題の中の数量やその関係に着目し、連立方程式をつくることができる。 ○連立2元1次方程式を利用して問題を解決するときの手順を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○連立2元1次方程式を利用して、具体的な問題を解決することができる。 ○求めた解が問題に適しているかどうかを、問題の場面に戻って考え、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○連立2元1方程式を具体的な問題の解決に利用しようとしている。 ○連立2元1方程式を活用した問題解決の過程を振り返って、その手順を検討しようとしている。

3章 関数を利用して問題を解決しよう [1次関数] (20時間)

単元の評価規準例

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 1次関数について理解している。 事象の中には1次関数として捉えられるものがあることを知っている。 2元1次方程式を関数を表す式とみることができる。 1次関数の変化の割合やグラフの切片と傾きの意味を理解している。 1次関数の関係を表、式、グラフを用いて表現したり、処理したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 1次関数として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連づけて考察し表現することができる。 1次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 1次関数のよさに気づき粘り強く考えようとしている。 1次関数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 1次関数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。

毎時の評価規準例

節	評価規準例		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 1次関数	<ul style="list-style-type: none"> 1次関数の意味を理解し、$y=ax+b$の式に表すことができる。 比例$y=ax$は、1次関数$y=ax+b$で$b=0$の特別な場合であることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な事象の中の2つの数量の間の関係について、表やグラフを用いて調べ、一定の割合で変化していることを見だし、説明することができる。 yをxの式で表して、yはxの1次関数であるかどうかを考察し、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 1次関数の必要性と意味を考えようとしている。
2 1次関数の性質と調べ方	<ul style="list-style-type: none"> 1次関数$y=ax+b$では、変化の割合は一定で、aに等しいことを理解している。 1次関数$y=ax+b$で、xの増加量からyの増加量を求めることができる。 具体的な事象において、1次関数の変化の割合が何を意味しているかを読みとることができる。 1次関数のグラフは、その式をみたす点の集合で、1つの直線であることを理解している。 1次関数のグラフの切片の意味を理解している。 1次関数のグラフの傾きの意味を理解している。 1次関数の値の増減とグラフの特徴を理解している。 1次関数のグラフを、切片と傾きをもとにかくことができる。 1次関数について、グラフをもとにxの変域に対応するyの変域を求めることができる。 グラフの傾きと切片を読みとって、1次関数を求めることができる。 グラフの傾きと通る1点の座標から、1次関数の式を求めることができる。 グラフが通る2点の座標から、1次関数の式を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 1次関数の値の変化の特徴を見だし、説明することができる。 1次関数のグラフの特徴を見だし、説明することができる。 グラフの傾きと切片から、そのグラフが表す式を考察することができる。 1次関数の表、式、グラフを、相互に関連づけて考え、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 1次関数の値の変化の特徴を捉えようとしている。 比例のグラフと対比させて、1次関数のグラフの特徴を捉えようとしている。 1次関数の式とグラフを関連づけて、1次関数の特徴を捉えようとしている。 1次関数の式を求める条件や求める方法を考えようとしている。

3 2元1次方程式と1次関数	<p>○2元1次方程式のグラフは、その解を座標とする点の集合で、式を変形してできる1次関数のグラフになっていることを理解している。</p> <p>○2元1次方程式のグラフをかくことができる。</p> <p>○2元1次方程式 $ax+by=c$ で、 $a=0$ や $b=0$ の場合のグラフの特徴を理解し、グラフをかくことができる。</p> <p>○連立方程式の解が、2つの2元1次方程式のグラフの交点の座標であることを理解し、連立方程式の解をグラフをかいて求めたり、2直線の交点の座標を連立方程式を解いて求めたりすることができる。</p>	<p>○連立方程式の解の意味を、2つの2元1次方程式のグラフを用いて捉え、説明することができる。</p>	<p>○2元1次方程式や連立方程式の解の意味を、グラフを用いて捉えようとしている。</p>
4 1次関数の利用	<p>○身のまわりには、2つの数量の間の関係を1次関数とみなして問題を解決できる場面があることを理解している。</p> <p>○1次関数のグラフを利用して問題を解決できることや、グラフのよさを理解している。</p> <p>○1次関数の関係を、変域ごとに式やグラフで表すことができる。</p>	<p>○具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を1次関数とみなして、問題を解決する方法を説明することができる。</p> <p>○具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を1次関数とみなして、問題を解決する方法を説明することができる。</p> <p>○具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を1次関数とみなして、そのグラフを利用して問題を解決することができる。</p> <p>○具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を、変域によって場合分けをして考え、説明することができる。</p>	<p>○1次関数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</p> <p>○1次関数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</p>

4章 図形の性質の調べ方を考えよう [平行と合同] (22時間)

単元の評価規準例

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 多角形の角についての性質が見いだせることを知っている。 平行線や角の性質を理解している。 平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解している。 証明の必要性と意味及びその方法について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な平面図形の性質を見だし、平行線や角の性質をもとにしてそれらを確認、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 証明のよさに気づき、その証明の方法を粘り強く考えようとしている。 平面図形の性質について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。

毎時の評価規準例

節	評価規準例		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 説明のしく	<ul style="list-style-type: none"> 多角形の内角、外角の意味を理解している。 多角形の内角の和の性質は、三角形の内角の和をもとにして見いだせることを理解している。 多角形の外角の和の性質は、多角形の内角の和をもとにして見いだせることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 多角形の内角の和の求め方を説明することができる。 n 角形の内角の和の求め方を、もとにして説明することができる。 n 角形の外角の和の求め方を、もとにして説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 多角形の角についての性質の説明で、もとにして説明している。
2 平行線と角	<ul style="list-style-type: none"> 対頂角の意味と性質を理解している。 同位角、錯角の意味を理解している。 平行線の性質、平行線になるための条件を理解している。 証明の意味を理解している。 三角形の内角、外角の性質を理解し、角の大きさを求めることができる。 多角形の内角の和、外角の和の性質を理解し、角の大きさを求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 角について、成り立つことを見だし、説明することができる。 対頂角が等しいことを、論理的に筋道を立てて説明することができる。 平行線と錯角の関係を、論理的に筋道を立てて説明することができる。 三角形の内角の和が 180° であることを、論理的に筋道を立てて説明することができる。 角の大きさの求め方を、補助線や根拠となる図形の性質を明らかにして説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 証明の必要性と意味を考えようとしている。 平面図形の性質について学んだことを学習に生かそうとしている。
3 合同な図形	<ul style="list-style-type: none"> 平面図形の合同の意味と表し方を理解している。 合同な図形の性質を理解している。 三角形の合同条件を理解している。 三角形の合同条件を利用して、2 つの三角形が合同かどうかを判断することができる。 ことからの仮定と結論の意味を理解している。 証明の進め方を理解している。 証明のためにかいた図は、すべての代表として示されていることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 三角形の合同条件を、三角形の決定条件をもとにして考え、説明することができる。 証明の根拠となることを見だし、簡単な図形の性質を証明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 三角形が合同になる条件を考えようとしている。 平面図形の合同の意味を考えようとしている。 三角形の合同条件を、三角形の決定条件をもとにして考えようとしている。 三角形の合同条件を学習に生かそうとしている。 証明の必要性と意味及びその方法を考えようとしている。

5章 図形の性質を見つけて証明しよう [三角形と四角形] (24時間)

単元の評価規準例

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 証明の必要性と意味及びその方法について理解している。 定義やことがらの仮定と結論、逆の意味を理解している。 反例の意味を理解している。 正方形、ひし形、長方形が平行四辺形の特別な形であることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 三角形の合同条件などをもとにして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。 証明を読んで新たな性質を見だし、表現することができる。 三角形や平行四辺形の基本的な性質などを活用して具体的な事象を考察し、表現することができる。 ことがらが正しくないことを証明するために、反例をあげることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 証明のよさに気づき、その方法を粘り強く考えようとしている。 平面図形の性質や図形の合同について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。

毎時の評価規準例

節	評価規準例		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 三角形	<ul style="list-style-type: none"> 二等辺三角形の定義を理解している。 二等辺三角形の頂角、底辺、底角の意味を理解している。 二等辺三角形の底角の性質を理解し、角の大きさを求めることができる。 二等辺三角形の頂角の二等分線の性質を理解している。 正三角形の定義と性質を理解している。 二等辺三角形になるための条件を理解している。 二等辺三角形になるための条件の証明において、辺や角の関係を読みとることができる。 ことがらの逆と反例の意味を理解している。 直角三角形の合同条件を理解している。 直角三角形の合同条件を利用して、図形の性質を証明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> あたえられた手順で、いつでも直角ができる理由を考え、説明することができる。 二等辺三角形の底角の性質を証明することができる。 二等辺三角形の底角の性質の証明を読んで頂角の二等分線の性質を見だし、証明することができる。 正三角形の性質を証明することができる。 2つの角が等しい三角形の2辺は等しいことの証明について考察することができる。 二等辺三角形になるための条件を利用して、図形の性質を証明することができる。 直角三角形の合同条件を、三角形の合同条件をもとにして考え、説明することができる。 証明を振り返って、新たな性質を見出すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 平面図形の性質について学んだことを生活に生かそうとしている。 二等辺三角形の性質を証明する方法を考えようとしている。 二等辺三角形になるための条件を証明する方法を考えようとしている。 直角三角形の合同条件を、三角形の合同条件をもとにして考えようとしている。 直角三角形の合同条件を学習に生かそうとしている。

<p>2 平行四辺形</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○平行四辺形の定義と性質を理解している。 ○証明のためにかいた図は、すべての代表として示されていることを理解している。 ○平行四辺形になるための条件の証明において、辺や角の関係を読みとることができる。 ○平行四辺形になるための条件を理解している。 ○長方形、ひし形、正方形の定義やそれらと平行四辺形との相互関係を理解している。 ○長方形やひし形の対角線の性質を理解している。 ○底辺が同じで高さが等しい三角形の面積は等しいことを理解している。 ○平行線の性質を利用して、図形を等積変形することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○平行四辺形の性質を証明することができる。 ○平行四辺形の性質を利用して、図形の性質を証明することができる。 ○具体的な事象を考察することを通して、平行四辺形になるための条件 [2] を証明することができる。 ○平行四辺形の性質の逆を証明することを通して、平行四辺形になるための条件 [3]、[4] を見いだすことができる。 ○平行四辺形になるための条件 [5] を証明することができる。 ○平行四辺形になるための条件を利用して図形の性質を証明したり、その証明を振り返って統合的・発展的に考えたりすることができる。 ○長方形、ひし形、正方形の定義をもとにして、それらが平行四辺形であることを証明することができる。 ○長方形やひし形の対角線の性質を証明することができる。 ○長方形やひし形の対角線の性質の逆が正しくないことを、反例をあげて証明することができる。 ○既習を活用して、図形の性質を見だし証明したり、統合的・発展的に考えたりすることができる。 ○平行線の性質を利用して、図形を等積変形する方法を考え、その方法や手順を説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○平行四辺形の性質を証明する方法を考えようとしている。 ○平行四辺形の性質を学習に生かそうとしている。 ○平行四辺形になるための条件を証明する方法を考えようとしている。 ○平行四辺形になるための条件を学習に生かそうとしている。 ○長方形、ひし形、正方形と平行四辺形との相互関係を捉えようとしている。 ○平面図形の性質や図形の合同について学んだことを学習に生かそうとしている。 ○平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 ○平行線の性質を学習に生かそうとしている。
--------------------	--	---	--

6章 起こりやすさをとらえて説明しよう [確率] (8時間)

単元の評価規準例

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 多数回の試行によって得られる確率と関連づけて、場合の数をもとにして得られる確率の必要性和意味を理解している。 簡単な場合について確率を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 同様に確からしいことに着目し、場合の数をもとにして得られる確率の求め方を考察し表現することができる。 確率を用いて不確定な事象を捉え、考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 場合の数をもとにして得られる確率のよさに気づき粘り強く考えようとしている。 不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 確率を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。

毎時の評価規準例

節	評価規準例		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 確率	<ul style="list-style-type: none"> ○多数回の試行によって得られる確率と関連づけて、場合の数をもとにして得られる確率の必要性和意味及び確率の求め方を理解している。 ○確率 p の値の範囲が、$0 \leq p \leq 1$ であることを理解している。 ○起こりうる場合を、樹形図や表を使って全部あげ、確率を求めることができる。 ○起こりうる場合の組み合わせを考えて、確率を求めることができる。 ○起こりうる場合を2次元の表に整理し、確率を求めることができる。 ○あることがらの起こらない確率の求め方を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○多数回の実験の結果をもとにして、あたりやすさの傾向を読みとり、説明することができる。 ○実験によらずに確率を求める方法を、場合の数に着目して考え、説明することができる。 ○確率の意味をもとにして、誤りがあることがらを指摘することができる。 ○同様に確からしいことに着目し、場合の数をもとにして得られる確率の求め方を考え、説明することができる。 ○確率をもとにして、ことがらの起こりやすさを比較し、説明することができる。 ○あることがらの起こらない確率を、場合の数について成り立つ関係に着目して考え、説明することができる。 ○あることがらの起こらない確率に着目して、確率を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○場合の数をもとにして得られる確率の必要性和意味を考えようとしている。 ○同様に確からしいことに着目し、場合の数をもとにして得られる確率の求め方を考えようとしている。
2 確率による説		<ul style="list-style-type: none"> ○身のまわりの事象の起こりやすさを、確率をもとにして考え、説明することができる。 ○同様に確からしいことに着目し、起こりうる場合の数え方の誤りを指摘することができる。 ○身のまわりの事象の起こりやすさを、確率をもとにして考え、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○確率を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。

7章 データを比較して判断しよう [データの比較] (4時間)

単元の評価規準例

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を理解している。 コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを整理し箱ひげ図で表すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読みとり、批判的に考察し判断することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 四分位範囲や箱ひげ図のよさに気づき粘り強く考えようとしている。 データの分布について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 四分位範囲や箱ひげ図を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。

毎時の評価規準例

節	評価規準例		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 四分位範囲と箱	<ul style="list-style-type: none"> ○箱ひげ図と四分位範囲の意味を理解し、データを整理して箱ひげ図に表すことができる。 ○箱ひげ図と四分位範囲の特徴を理解している。 ○箱ひげ図からデータの分布の傾向を読みとる方法を理解している。 ○箱ひげ図とヒストグラムの対応を理解している。 ○箱ひげ図と四分位範囲の必要性を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○2つのヒストグラムから、データの分布の傾向を比較して読みとり、説明することができる。 ○箱ひげ図からヒストグラムのおおよその形を考察し、説明することができる。 ○四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を読みとり、批判的に考察し判断することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○既習のデータの整理や分析の方法を、問題解決に生かそうとしている。 ○四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を考えようとしている。 ○データの分布について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○四分位範囲や箱ひげ図を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。